

第 38 号

発行者
青少年育成秋田市民会議
事務局
秋田市子ども未来センター内
少年指導センター

〒010-8506
秋田市 東通仲町 4 番 1 号
TEL 018-884-3869
FAX 018-887-5335

青少年やどめ



7月27日第29回JR秋田駅前クリーンアップ・参加者 大人26名、子ども10名

昔ものがたりとアウトリーチ



青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫

とある（子育て講話）の中で、宇宙飛行士に適している、あるいは結婚相手として選ぶとしたら桃太郎か？ 浦島太郎か？ 会場は「好みがいろいろとある」とも言えない。桃さんなのだが、解析がある。桃さんはリーダーシップに長けていて少量の食べ物を分かち合う慈善派。それでいて世にも恐れる鬼どももを退治する勇敢に行動する人物。一方、浦ちゃんは、釣竿で釣った話がない暇人・孤独派。亀を助ける優しい龍宮城という海の中で乙姫様と時を忘れて過ごす空間、玉手箱を開けてしまう約定破りだが、未知の世界の体験者でもある。という展開になった。知力・体力・経済力は必須事項だが、この場合「優しさ、時を忘れる空間、未知の世界」を体験した浦ちゃんを勧める。とのこと。

（5年80%）、30〜34歳（7年以上70%）年齢層に限らず確かに増大しており、子ども・若者への支援が重点になっている。しかし、関係機関に相談したいと思わない15〜39歳（65.3%）は想定外で、長期にわたり、信頼関係を築き、親身になって一緒に克服してくれる機関を望んでいる。「相談があるなら来て」という形態は、ほとんど「二度と相談しない」。アウトリーチ支援の必要性が喫緊の課題である。（久留米大教授 門田氏）

現実には浦ちゃんの暇人・孤独派の悩みを持つひきこもりが15〜19歳（30.6%）、20〜24歳（34.7%）（子供・若者白書…内閣府）と公表されている。ひきこもり期間は15〜19歳（3

克服するには、「4月からひきこもりです」というケアマネージャー・ソーシャルマネージャー等は一年契約者であってはならない。「人材育成」と「アウトリーチで自己肯定感」を持たせることこそ大切（豊中市社福協 勝部氏）と実体験を力説された。

「男鹿のなまはげ」を加え、主人公たちには現実社会の中で「アウトリーチ支援」をしてほしいものです。

